の自既作用を促さんとする方針を

所に解験的態度に出ない限り中 るに決した、よつて選西側が静 進すると共に一先づ版西省を包閣

黄培育等の果語所面は十九日余改。次第に入り込んだ陳紹娟氏態下の「棲態に殴する旨態表した

と通知した、今朝来東江方面から

安民の市出を越し、治安が密者を

り時間の牧船に寄られたい の、費下は一日も早く魔児に米 公定局と窓兵司令部は十九日正午 を言うことでも、手を責めます。 を言うことでは、手を責めます。

整備取け一面に建したが、同年

叛徒に降伏

廣西軍が中央に對し

机戦的態度を持續

封鼠したが、既に同地にはスペイ

命の重大化に鑑み、萬一の場合イ

ギリスの概益膨脹に再遺憾なきを フルタル軍憲富局はスペインの革

【ジブラルタル十九日同盟】ジブ

選擧制度

革命重大化

叛徒が席捲

ラルタル、イギリス官談は関環を

逆に造伏するに至り、アルゼシラ ゼシラスにおける政府軍は選に振

しかし陳氏の轍を踏む外なく

態となつたが。何れよりするもは、更ありとするも結局は映済祭氏の

没落は時間の問題

萬の中央軍に對し李白爾氏如何に「唯時間の問題と見られるに至つた

報を踏む外なく、その辺落は今や

節モロッコに向け避難を開始したら十九日午前にかけ市民は殆ど帰

無根と發表 西班牙政府 揚するところとなり、十八日夜か 領モロツコは今や完全に叛使の席

廣東入城の豫定

州、湖南、鷹東方面に迫れる三十

[廣東十九日同盟] 弘述、賈任章 時局收拾方を通電

る制南、政州、雲南各省の中央 急ぐことなく歴巣の中央化を促

激なる製化を興へる拙策なりとし

盟西に細する眼り當分出來る

指らず歴西軍は中央に對して抗戦 その越粤前夜跋楽軍の和戦如何に

領御用邸に御戒りのため二【東京治語】義召標には那

を遮蔽し乾坤一腰、膀胱を決せん に湖南省南部地區の中央軍の後方 るもので、一方程株方面より一段 力し質果省第三線を死守せんとす 中して来た月前は、李宗仁軍と昭 西軍が経々區東市内を日指して集的態度を辞費する背書期した、既

氏は直にその善後歌につき協議し

こ 高艇を祀じた、第一第二兩師は「職能は歌越した形で、第四郷歌五た結果、英雄一帶の選集軍第二軍(衛手派仁氏の職粤により賢集版西)日に正にするできます。

「漢字氏の下野連合に接した金融版」軍七萬を開闢監州版道監獄に配置。 「漢字十九日同盟」十八日禄庭陳「田町職器推加部を常逊せしめ中央

兩廣の連絡斷絕す

那須に御成り 官 の下野を要求することは省戦に急 ては中央も十分認めてをり、雨氏 **敷年間置西省における治盤についてゐる、耐して李、白兩氏の過去** 央側は対行的態度を執るに決定し されてゐたが、月下の所中央は直

型する態度は各方面から聞る荘目【南京十九日同盟】中央の脳西に

廣東諸將領余氏に

在氏の簡望たる金支那統一への一飛器であるかどうか、軍部方面の對西南欧路は単は遊した如くであるが、果してこのことが形介

への一飛躍であるかどうか、軍部方面

は断政能令後の超勢に関連し大體左の加き観測を下してゐる 蒋介 石政権の選妹はその中央政権としての極勢を握つて

【東京電話】陳清紫氏以下西南派號力の一覧に推折し、蔣介石氏

青島總領事舘警察が實地檢證

射殺さる

青島二十日同盟1 医污染線坊子

現在の國民黨は舊軍閥以上の惡政! 蔣介石政権の 今後に對して軍部方面の

朋嬢の運命を辿らん

の業成るも

明的を施し、背熱無求を事とし際民大衆を抑隆してある事質は関氏能が都が暗した宏遠なる國民族論の理私と相解る空泥の相違あるのみならず相違あるのみならず 同時に海軍閥攻撃のための民衆煽動政治の成果は、政治

に對する批判の能力を活めしめた結果、復等の批判は高もに居政権であるのに主か、今本権介石の智慧を送した氏が如何に言論を理解して悪子しと云ひ放けて委員衆を理解、民が知何に言論を理解して悪子しと云ひ放けて委員衆を理解、その成果の上に表面的統一を完成して刺続たるの智慧を成した影響を表した。 それは大家の怨煙の向となり やがて従来の軍閥がその権力を失墜した如くその勢力の

れも遠からず崩壊するの運命に立つほかないであらう(漫断は将 といふにあり、之れを要するに蔣介石政権が指用機にもおる聖政

> 【南京十九日間盟】原山に並んだ 蔣氏が西南の 中央化を講ず

現に赴き中央の威信を示すものと 宗郎を帰ってゐるが、一家阿殿に所介石氏は常地で西南殿跡につき じてゐる、一敗落を部つて自ら近 西南の中央化を闘るため顕策を調

あつた本版石田鐵山無長は十九日

務委員受諾

今7回の會 資本的中興味を 【北平北日間盟】石友三氏に甘口今7回の會 資本的中興味を 【北平北日間盟】石友三氏に甘口市の健構改革で、誰しく式へば「智、鑑弥養成死法を正式受験したが能る

昨日午後に至り

全土を庸捲

国、「龍の誠中に投せられるに至った」 お自動単には世々しい頭鏡をし、 の表に関して思り歌語となったが、が自方・帯は起上し多数の死験者 の表に関して思り歌語となったが、が自方・帯は起上し多数の死験者 の表に関して思り歌語との間に猛烈な眼。ジブラルタルに表到してある。多を参 の表に関して思り歌語との間に猛烈な眼。ジブラルタルに表到してある。多を参 の表に関して思り歌語との間に猛烈な眼。ジブラルタルに表到してある。多を参 ③1.十二日內務省(都合によつて を開催するに決定し、内別次

具體的協議を行ふこととなったが 選挙制度改革に置する本地質前に

てゐる

【東京歴史】まる特別議館の公訂一 月末初館合せ

の復備が整つたので、政府はいよ に基いて政府は現行選録制度の根 (本月下が頃初頭合せの第一回

照されその類に影倒、一時間にし かのために背後よりピストルで狙

烈の類似商別近を通行中。何もの 居住羽人渡邊架は十九日午前八時

一分印度が調道指統第子の那人経

設方針その他下打合せのため来

點となるものは左の如きものであ を一新、湿臓界の四回間道を明す 過去の遊響で提覧した国家なるが

組織した

ることに決定した、依つてこれが 影脈度の全面的比革につき設置す

質売を期すことに無見一致を見た

一敗名は二十日監田首相、滕沼、

査闘長等を腿筋左の決議文を手交

に超し、司法革新の一端として に超し、司法革新の一端として に超し、司法革新の一端として

善後處置

段落となり、魔る問題は金波線氏 野により四東に関する限り時局 統一のためどの程度まで環境軍をによる普後極限と蔣代石氏が軍撤 「上海十九日同盟」陳濟紫氏の 残る今後の問題

部的衝突又は内貌の惧れなしとし 世編組少するかにある、然し作ら 央軍艇工作を賦行するの製あり、 新氏今後の取捨て作は所る注目に しめざるために逐次断限軍を初め **蔣介石氏の出方如何によっては局**

コ野面はメリリアに革命本部を設せロッコ金土を解悟、首頭フラン

から影響したスペイン歌モロッコ

「デバタ十九日同盟」十八日末期 | 叛徒は銃勢をかつて勘院アルゼシ | 軽へ港内の軽減を厳にするやら命

全西班牙も擾鼠の渦中へ!·

序維持に當つてゐる、政府から派

叛乱軍の措施匹を領土の秩

時ず分家族同件で京城端着々任一途中帯山で一泊、廿五日午後三

>陣内利夫氏 (巫竇局 京城支局 鮮ホテル 佐美鐵路總局長 廿日入城期

たぬやうなものは幽流でも何で つっおれにはちゃんと戦つてゐさうな、盛にいへば優先艦を持一いふなつ。もう何も吐かすな 四五の國策に億先艦を興へる 天地支黃 ございません

はおいこと、後に作っ、水上降底。 ちらが。 動野は配質だといふ、無暗に数。 ちらが。 があったといるのだ。 なり遊をするばせて、 なりというがら、水上降底。 ちらが。 四方八方からので成ぜめにあつ 義務教育延長は整言だけでは 「えつ?」

たの裏のやさしい解も、変役して

しょとい 阿女めが

が、軍に曹武の複線脈に居化部派

金に態度の決定を見ることは開始会に態度の決定を見ることは開始 問題も伏在してゐる複雑で、 宇垣總督

花治 门人

(188)

た原四拾録送で記録

畫作

社の東定である。
一十日夜田盛、約二週间添けの東定である。

犯人はいまだ不明

司法國策の實現を

やがあつたなつ。...

なつ。……ウ、ム・見

てるやがれつ、うぬも、

和介の野

「出せつ、今見てゐた皺を見せろ 良人の敏鋭を浴びて、お吉は、

政治に法規整備機能設置は討法部の権に討法國策たる司法職政の増 るから、極力當局を慰抜してその 革新の根別をなす喫緊の要務であ た物は何だ 説のやうに白くなつてしまった。 「なんだつ、今、ふところへ隠し び離り出してくると、

いて、平次即は、奥へ届けこんでどん――とお吉を一つ健取してお

り、おれに何つて、てめえの様子 胸を抱いて、彼女は娘んでしま である。勝ぎ道ました大手斧だつ 振り上げたのは、彼の仕事近長

へてるやがるなり がやさしすぎるわいと戦に思って ふたが、さては、限し男をこしらしたか知らなかつた。 「まつ、が起もない」 したか知らなかつた。世の陰へ、お吉は、自分の身を何らうごか ーキャッ

た。平次郎が

覚者 書中

ぬが陰し男を持つてゐるので、何一个人に切つたので絲は蝴蝶の娘の「うんにや、さらに迎えれた。ら に懸け てある干す ちの絲 をげら 振り下るした手斧の刃は、その機

層に銀行した、200人は来だ不明で が永川巡査部長、野師等を從る 口午後一時华杉村搬車事務取扱ひ

明事解緊急より質地協議のため同 に經命した、金製に接した青島器

民政策の永井殿が長、役割を改善越次官初め段林、諷信、陸軍、御 印、司法各大臣、<u>國民兩黨與務關</u>

とを云ふい

内閣の後を承け十九日成立したマ

【マドリー十九日同量】オパルー

西班牙後繼內閣

可能と見て直ちに辭丧を提出、

ホイルド、スワンの二隻に武威を期するため十九日龍逐艦ホワイト

本府第三次展動は知事級に一名の一るが、期日は重算値成後の九月と一度決定は、脱重敬究を進めてゐる 後任には見島、佐伯氏らが有力 時期は豫算編成後の九月頃

鐵道局の態度

思はれず が市内に栗入れてゐるのは相當別東回數の極めて多い私政越道京城都市計畫の將來に盛みて、 ある、赤信壁に立番さしてのう 特急列車に叩き起された騒が

お吉の野の毛

「ど、どうしてそんな、大それた して居やがるのだららい … あまりといへばい と、お吉は総明したが、

良人のことばを、疑めしく思つのやうに吊り上つ えが、それは、男から來た猶文に あらに孤つてゐるのであつた。 生気部の壁はまつたく変気度がったやと、自外の三つに液を呼吹ったやで、 西と、 職徳 いひまずか

「とんでもない……そんな物では 「え」、今更、聞く |を、大きく||振り| 手稿の光は、せ まい土間の中 身はねるない

「どうだ、おれの配にくるひはあ」て、朝げた。「えつ?」 明月によっかっ 振り、風を断 かつた、機に

一平次即は、 猜疑の鬼になってる一か、 來て、ださいつ」 部の荒い足にベリベリッと関み酸の外へ、どんと促れた順戸は、彼の 「--- あれッ、どなたか、どなた

開へ向つてさけびながら、お吉



あたる

スエステ 湖子のア の訓 牧北藤那山北淺堀 伊 柳岡吉小林浦須崎村原口馬 壽六大 辰 送。定 ^{興世}號月) 革 子麗勇子馬洲造斌夫朗學 詹姆料證價

東近の傳染病患者の六割は赤痢

京城府官民協力して防疫

來月北鮮から來る

の學徒團

●新興品「かをり」に就ての領艦|道所管の中等戦校は八月一門まで

行の朝鮮内の視察日程決定

▲各種たばこの小角筋圧に就ての一が休暇、夢にまで描いてあた数々

赤痢激增

風

の初登場

九十七名で全體の大型六分を占め

紫海北田歌は1四六名のも赤町 便所にましました

狭孤をなし同志に呼びかけて従来 二部館の豺魔を翻諸文郎不出品の

地を視察中であるが、張も八月十 祭徒戦党戦三百餘名は月下福州を東三回を闘大慰校門衆技福州が逃

文成と抗労を続けんとしてゐる 能び在野洋湖陣のため江を吐いて の不出品同盟に代るべき新同盟を

長は果大今井登志京教授である

る外間局機関応『母優の頻解』九

子供二人溺死

月號に挑戦の豫定であるが、何こ

製して語る

数十三日午前五時半京城将十四日城県「十二日城県」

本大學工具部段佐野利器氏、削削一つたこの何答は事務委等監督とす

終するはずである、なほ聴長は日 日劉何經由、左の日程で鮮内を規

して愛煙家方面へ戦烈の答へを吹の四項目について特徴はがきを出

はせてみる

のプランに小場のやらに胸をふる

よ散器地獄を従つわけだ、土朋のの削哨職の様なもの、これから愈

リのものが果進中

れその国政部間の意見恵立十九日

けふ土用入りのお天氣模様

四に銀行されるが、第一日は午前 六時宮永県移局長の開館の群があ 保御午削六時から三十分間全郎一 4二十一月朝から八月二十日まで

あすから始る

文展問題で 洋畵陣

全鮮二百餘ヶ所で

脱船の如く國民保政の上から無手

文形方面に油路を取ってあるので「変は二十段名は紅過級法後認診験」 密泉、十九日午旬七時中成北陸與今年は初の颱風が民生態にあるが、総解結果を注目されてゐたが質行 をなし郷鑑の結果文展支持に随い一郡上下面朝鮮石統工業株式資品制 發展の北鮮方面に 働者足らず

西北郎の諸隣工業産業の職別的設 孤潔型について一般の人々の嗜好│★あなたの日常御婆用のおたばこ 約一萬五千人急用

約一萬からの不足を告戚北の如き 庭に住ひ間方面の労働者は推応し

◆あなたの関係求属への御命田は、日まで、中華県校は同十九日まで

って行った。初等限校は八月二十

院護療を購つて獲みやらに家へ除|日から甘七日まで復日午和八時か

學校職業科書的 (木工)を廿一

夏休暇に入り京城府空停縄では小

と別の終り場を「中野のののでは、中野ののののでは、中野のののののでは、中野ののののでは、中野ののののでは、中野ののののでは、中野ののののでは、中野のののでは、中野のののでは、中野のののでは、中野ののでは、中野ののでは、中野ののでは、中野ののでは、中野ののでは、中野ののでは、中野ののでは、中野ののでは、中野のでは、中野ののでは、中野ののでは、中野ののでは、中野

そー一十日脳内各

イフセンインク

吐橋附近の漢江上流で行水中南元

(デ)の二人はうだる提携の写め順

変在羽氏焼<u>成焼さんご。</u>糸男さん

早後七時が京城府外断肚里 | 十七日七川署に逃還された

お母さん御用心の

「野水の一門五分的二、三千を送 可能なことで収穫期を終へる九月 現在の農業期でこれだけの 方を本所駐館跳に依頼して来たが 五千の不足となり、威北では熊旋 すことは不

重賭博は無罪

ける尚州事件の最後判決

相応と大権して被告の一部では多様には問題を持続して、というの所含はは問題を構成するものに非ざれば原語が無罪と言義したるは正常で原則決には基も審實記記の疑問のとなるとなし、

內地人婦人 専門スリ

るこれに目下手配をしてある 煙草の感想

決定せん

英國首席委員《日本支持

通報生食在環境(で)外色質能は、 事を呼びて高弱医療が秘密で関密、動質散物事候到強力(4)。同時は最一時半から認識器技術、自治療動質散化(4)。同時は最一時半から認識器技術、自治療的の活態を提供してみ生態に成多 も大暇で 無罪となり 絨頭側の不 奥行政 受十六名の同地方有力許を 刑法第百八十五條但書の所謂一

時の娛樂に供する物を賭したる「罪に落著して大陽園となつた刑法第百八十五條但書の所謂一」と上高戦却の戦決あり、こゝに無

英品の男子令用の相解が内が神里 新宝町一大二、李油で川」先般がはれた住所不定摘 十分草城黄金町二丁

李加族一名

換品的男子子用の相同形内が開里

蹴球組合ゼ

スェーデン

されたが石による4日本は第一回 ック闘珈薩遠趾合せは十九日經或【ベルリン十九日祝證】オリンビ

ヨーロッパでは定許ある強チーム

別に依れば、イギリス委成は今回の處 時間に亘り説明訟断したが贈の説

にオリンピック委成的女術斯師へ度に出るものと見られて居る、た

直に對し日本支持を申出でた言述

その不合用を耽いて申込み引

芬三国の第十二回大館皆致問題に リモウスに記ししたが、日、英、

ンリー氏は十九川アメリカよりブ

たもので、今日に至って見ると、 止めを行ったが、大勢は如何とも

・ギリスのこの横角的申込みは、

れも密部器域の音楽学術書画に示す力量き配録であるれるの部の部分は観する。いづ

京城本町一丁目鐘紡(二階)に開 十八日より廿二日まで!來り見よ

か

京城本町鐘紡サービス・ス

主催 期間

全朝鮮寫眞聯盟

で(二十日は公開せず) 七月十八日より二十三日ま スの大資申込みに翌る經緯を約二、オリンピック変域に励しても日本

に有利な影響を興へるべく影測さ

代表は十九日ベルリンでシュバン

シュペンダウ六……四日本

日本水球再敗

れ、爽はアバー・デヤア脚と同感

で提戦の後途に 防治に答るとよなるがイタリーはご回載でイタリー、アメリカの

戦でスエーデンに當りこれに對て

思はれる日本チームの出場組合せ

で日本チームは例へスエーデンに

風を喰らつて選延してゐたが丁は「治療十日間の傷を与けた八七丁壅慢」も)と資源版の個人は「孫養三」に纏かれ右肩及八七丁壅慢」も)と資源版の個人は「後から水水和風きッシー 京城驛の泥棒

京城孔信町七ノ二荷車筏子金原植。段に捕へられた 二条符合室を中心に前後十二回に一条符合室を中心に前後十二回に 旅行者泣かせ御用

CioNが廿日朝十時頃若関するCioNが廿日朝十時頃若関するCioNが廿日朝十時頃若関するCioNのできる。

廿日朝の概況

府尹官舎に

整伤医岩炭的人内干二百八

なお天氣續

十九日午後十一時望京城通義則で「福町一〇八井上記文郎氏所有」 職権言語を持つたまる妻を隠まし

内の頻繁に宛め敷助作業中である。 夕息玉〇七號が電車の前部に衝突。 こで無受許と領則目下行方郷登中内の頻繁に宛め敷助作業中である。 夕息玉〇七號が電車の前部に衝突。 こで無受許と領則目下行方郷登中側が た、鎮路署で購べた結果。京城部

對抗京城豫選軟式野球都市 別選支店迄000200

> 配生液パロル 美味桃屋の桃の緑

> > 8

母 | 資 | 0031-004 0001000

和八高木へ 大型トランク新型流行船 夜具入、棚合李各種靴 小供薬物、雨具類

商品は大は

島區院

電話本局三二七四番

本町

の金融版さん(ご)と結婚、一男」さん(ご)は明和七年十一月由手町 近く母 脱離願ひ出づ

女主で出来たが最近天の虐待が酷 去る六月廿五日蛇娘八ヶ月の舟 京城元町二丁月李德四

京城府明治一丁目(安島市里)

第2回頒布

アグラナとアレグアダデオとアレグアダデオとアレグスギニュススギニュススギニュススを

チャック

参謀本部陸地測量部發行 引於

|作曲者に就いて|

トージ指揮 巴里安容

第一回頭布

要園の舞踊音樂 ダルック作

人の別気着のボケットから三面 長崎縣別松浦郡都も町椒漏サトさ五時頃 | 川朝地高朝で内地入踊 しいとサ日朝郡山海へ泣きついた。 現時前犯、法の主人十七日代 山いとサ日朝郡山海へ泣きついたれわちょつとは顔を図った物。ものはれちょつとは顔を図った物。 ノ刻即はみ込申

心は説到のるめ停事しないで走る | 且優勝し廿三星京の本大寶へ出蔵地方法院報報事事的成率総督社三 郎原選に出場した京城賢母は十九

を行ってあた

京城県

底町門

六京城

日夜十一時頃観路層前で電車

避免山行鼠物列車が京後網院制ひかる。
中国年前一時頃大

けてくれぬので光化円配便局制で

盟

い いたが、 軍禁何基果("こが明

經過鄭列縣が三時、赤山間で線路十九日午後十一時卅五分縣、福經 に傾臥してゐた朝鮮人男を翻殺し

稼路にねる

心閣北 の風弱く る處もあが 類の風弱く が窓のか 全般天氣豫報 南 の風場く 右同

地|の風影く 景)たり 二関で あると 明 上ると 明 上ると 明

|| 蔵北||の風 右肌 原の風弱く盛いたり 仁川の潮時 21

說明書途





































七七%まで不潔な落第品

平壌署の内査結果

は認ち登家を包み急報に駆けつけ

教替一枚も出し得なかったが投稿

を施しでらなく数くは焼けるにまっている。

蠶上面の火事

ト水溝の中に

少年の部が贈はその後小は、るて講殺されたもの少年の部が贈はその後小は、るて講殺されたもの

E まく水道は脚水中であつたので火 | 枝川氏方は火の廻り早かつたため

小學生溺死體

取調べの結果右は近西郡豊林面杆 銀路上に補助してるた男を雑載、 会域間を進行中 五七列車が岐櫓、合域間を進行中 五七列車が上に補助してるた男を雑載、

来に減を減った、死量は破害のよ 解説に引き渡した ・ 死量は破害のよ

昆虫の處女地

北鮮へ採集の旅

大邱歸省中の一中學生が

やうやく發見

脚
微
鏡
で
見
た
ら

病菌ウヂヨノ

塵箱から胎盤 | 平当 はないかとみられてゐる は有医院説の有閑マダムの仕業

死禮が浮び上つたので早速引揚げ

たが、開鍵は、雙り果てた我子の 附近の海面に、ボッカリ少年の湯

致彼のやうなものであるため殴罪 よっては邪年度からはアイスケ 書を命ずるとにした、なほ場合に 伝取締りをなすと同時に設備の収 は許可せぬ方針であるらしい 氣も心も ることが假明。全く病酸の概 設備の不完全から

死傷者の八割まで不慮の災

の機え續出

|て火の廻り急外に早く、その上折||とて一時は大趾離を転した。なは、二世間以上||実大概3で変が引つてゐた折観と||財は光山鱗則で真戮の火災のこと|| 具一切は毒く院臓と化した、碳骸|

内中里河航空使さんが巡日の顧明一十七名、捕籃が三大四名、架役数(大知)十八日午後三陸原義城は一部供局框上で発行したが申込為八

が際けられた、自和は二十日に出機のたい」と旅費を添へた低極病

一人道意思設別政党では來る二十四に合議した雑事的側の大同江第

| 平場|| 府及び商工智閣所の猛巡

朴 * Ħ

たばかりの量か高である

江原辭令(註)

マルワイ号ブレス号 マルワイ経済草

市民大會開催

ゴミ波へ中に發見

党集高東京女子製門製役製製金藝中体製で配着中の問題に再足の館中体製で配着中の問題に再足の館を建盟されてあるが、たまく 巻を建盟されてあるが、たまく 巻

対きな昆虫型の破害に能念なく

定であると

の世界を踏在し八月中の間印の像一行記念館で市民大阪を聞き第二人 選、約三週間北郎社」取品版の末知 | 五日午後六時から前内殿は里白書

ることになった

忠北獅令(起)

道橋架路促進に一段の指用を加く

取されてるるのを観光、周出によ

時、ろ犯人釜山生れ住所不定李三

指国际政和的五百国が何はかに別

「李山 近りが近回線近近音の時

賃金屬を盗む

不義の女の犯行

度與氏から「わが國民山県界の未

知数の地北部の昆虫珠珠に行つて

のため 土砂や芥で蛆まつた 自宅 | 玉四のろも優先朗通は十七個であ

即の下水溝を凌へてゐると監視の一つた

現れたので派いて所続者に急

車窓から見るお客を惱殺 、もない砂風呂

武水防部顆型王韓維那

當局濃厚場面の撤去嚴命

三年前登子金志吉を迎へ生品・・・府内西城里一九金水添きむ

もに何書かに綴まれてしまった、「は『緑九十歳で籍切り十八日正年」塊を記述けたカーテンで包んで避いて以善申抵職をかいてゐるう [『4])層が解釈中であった解説歌「てゐるまゝ雲獨してなり赤郷の 支話に融き間支店で金袋を机上にに送るため即に高洲国の中央銀行 悲劇を生む

つたが脳が引れて助かつた

色の子供を抱へて生活難から十六

七方家屋新築場の高さ二十四尺の

化つごといひ病害の果死を闘つた したが、石は大雨都州池画砂川 七日午後二時四十分年十

部落中の井戸水悉く涸れはつ

はその極度に遊し面内の各井戸金一ば日々しきに過ぎして国策協議中 上深刻となり安治都立石面の如き | 状態でこの天候がここ | 週間数け 【土理】不用一帶の早間にはこ時 新井掘鑿→空し

「羅南」まる十二日午後五時卯成 世界部上加面に猛烈な野州かる 農作物全滅 丁事を行び現在日ヶ所に調井戸をたので顕来五ヶ年計部で井戸郡圏

再び水飢饉に直面

龍山面民天を恨む

【年期】かくまで雨が迷らないの

悲壯な雨乞ひ

慶興郡に 電が降る

五十町歩の

水をし後の前なく渡つて汲みむる

け部落氏百五十餘名が豊つて天に 集めて脳部高端の谷山に景脈を歴

危く衝突

地帯震民らの脳ですらに徹底水が

缺乏してゐるか、どうか質問につ 前一層に出動しはじめたので毯。

切断して夕烈山揚げたのに到し一手すると同時に草浦状の締団りを

於之屯洑の

下流地騒ぐ

と見て多数、現場に出張し萬一の

びなから、社社域まる祈祷祭を行つ 向ひ間を信らし耐へよと大器で叫

【沙里院】 肝梨、於之中洪下流地 | 衝突を終形するところあつた

六十年來の旱魃

田畑共に收穫半減の幾想

安州郡立石面の惨狀

何種西屋第二ピーヤから投身自段 の末前作問題を飲んで自殺

九百九十回を引出し、これを河豚九百九十回を引出し、これを河豚

店員がとんだ災難 の下に水原酸が後息なに道立度院の下に水原酸が食る行しか時間事立意 児の死體が引き出たのを通行人が

釜山府民歌

果則築資町永茂・昨日役割援業さん、當つてゐるが収入は食としてわか「新羅州」十八日午前十時、万安一安思斯宗紀行け巡告が現路網近に

高替を組みに行き る。

増加の傾向があるの?本巻解除22、正の経過を質的することにした大十一名という総批者を出し年々 間、近く歴史は希腊に動し事故院 **十八名、重似版道三十三名、合即、坊内版像の不完全によるととが板は本年一月から五月までに死者三一 医検討をなしたところ八割までが** 白書銀行内で

総長自ら乗り出して事故が生の版 から十七名の被食委員所を明い 磁選したが重査の結果は来る州 日配表の歴史

嬰兒の

てゐる家が、水のほか多いところ

鍛羅所、各新典紙域立曾ひの下に「羅曹衛に連行東調(の結果真建人」砂原内はまかりならんと最重に取り上七日年後)時から野線響、府経・戦部に月星をつけ前夕耐人を逃祀 と今観天師漢では鑑重徴観射立の上七日年後)時から野線響、府経・戦部に月星をつけ前夕耐人を逃祀 と今観天師漢では鑑重徴観射立の上り下温度 本年度食経度書の謝籤に 程所では謝申音徳代(ま)といる別 りの厳勢を解決すること画だしい 清洋半の 急続政権制の謝籤に 程所では謝申音徳代(ま)といる別 りの厳勢を解決するので上り下清(す)

型の施設かなく弊官教育所を臨時 使用する始末で十分に練習を行へ 「工」四角性気部では現在回式 地があり月下的党中であるが舞戦ないので新に演送場を撤亡する計 **丁値を問題しそれに否則、補助等**

日本 (CH) 公州部劉副面與大型生社 を訴訟とし近の今別にその不心側
明寺 賦却大洞面草原里蘭大郎 曹優 。 を縁し迎れ触らんと用葉の節宅を
は此鄭紹八月戦より天安郡 仏歌面 母つらも、午後十時明語宅した暦
「世 は東錦八月戦より天安郡 仏歌面 母つらも、午後十時明語宅した暦
「世 は東錦八月戦より天安郡 仏歌面 母つらも、午後十時明語宅した暦
「世 は東錦八月戦より天安郡 仏歌面 母っちゃ、午後十時明語宅した暦
「世 は東錦八月戦より本郷・日 もなく 周元戦勢・の末本大を登断せんと 服を公所に連れ降り京原里李様心 を辿って切りつけ左腕 単三脈体

女給トロ

である、なぼ雨空ひ祈願景に誤婚合一般闘作物は最唐を免れの状態の一週間以内に降晴に忠善を免れの状態 女治三名が十八日仪自動中で平壌 【顧南浦】析乃祖井町東仕出場の 母子電車に轢かる

败、蝇、家ダニ

專賣特許

のみ、しらみ、南京虫専ョ由を

このイチケヤで即刻退行あれく

たまらなく

外別軍の通常には戦からざる不便「高麗」区内は三面河川に随まれ市 望であった平壌短短がかなひ三男 高の実験基圏(こ)さんは多年の宿 に平壌1 大師郷四川面に東里美版 て お た め

作学生対域の不良で水田鑑製、田 東巡の近くならず、殿政は日とのの伝えするものはく今後重点の版 早天に見切りをつけ最端に埋合、 関あるも時地域に遅れ水器五層、 吹声する有限で放射機等の原理は日との 来雨らしきものなく水稻は勿論四一草の生育思しきため堆肥散料の採 【南川】並帝道平山郡地方は雲以一の機気を規想されてゐる、一方錐 平山郡に生色なし

に任せてゐる疑もあつた。平置「手殿たる上流地帯が路の渺渺に岩」老の言によれば六十年帝の大旱蛇| 星猬一里の一部分は諸川江の遺湯 | 三週間以内に陰晴に思まれざる場所に破けられて維草の生きる| 寺殿たる上流地帯が路角のはある。秋群した黄で代一伊の殿殿殿首名はいよく人域後の | れが慰覚に否慮中である。秋群した黄で代一伊の殿殿殿首名はいよく人域後の | れが慰覚に否慮中である。故に古 | わたる水田のうも腕付入割、龍央 | 年以来十七年よりの大旱蛇でことの後もある。秋群した黄で代一伊の殿殿館首名はいよく人域後の | 言語室の必要かあるとて十八日午一覧量では小川福長街近以来総総認 事の飲良堰堤の政衆等等力した結一ざるものあり、殊に東京里、 果、成識見るべきものあり征収不 良であった同盟国も生活がる」活 (定例) 心質西面的在於菜品湯图 此處は豊作 喜る瑞穂最場 歌觀の極度に遊してゐる、右につ 一に敵し、その被害は名似すべから

蔵寧も十

年來の旱害

めた結果、漸く十八日午前五時 緊急出で銀貨必死の海中世系に劣

たというと、るがこれは簡単語は最低が無償でに収火をしるがこれは簡単語は最低が無償で 長は約一萬圓を要する見込みであ 宮の海洋政治局に世する技術機

中等學生の

の自動性診断は三百性に達し「威夷」所内に於ける本年上 を本署に連行取調べた結果

取した事實と既にな人の同校生命

同院自然心泥をやつてある住取

は不良智能を推過すべく調査を

泊

至 急

急 日満看護婦會 集 率天松島町十九 率天松島町十九 率天松島町十九

全名 ラ西

神聖の 学油大幅岩 字菓ンメセ

カタログ

+

町馬傳小・橋本日・京東

富局再警告を發す

たが同位内には男子の内地に出録

「羅門」去る十七日午町三時以山 れて放火 若妻に去ら 貧ゆるの罪

縮ることになった

慶南警察部

主力を抱いさるる。 あり、家人が直やに翻握しては一いつて毎日繁百名の男女が別様置きに望ひないとこの方面の郷金に「方の帰境へ何齢が観光した。のが「江の砂風丹は萬海に製造があるとから見て夕間に探へかれた女の所「外側城面岸間三人〇紀業光姿。50 【年典】 原表派を行えてある空道

の演武場

新設の企て

戦、臨地、臨地帯でも間様見本市 道場を訪問、驃列雄の斡旋万を依

三子子は腹部が出にて関しの間が

二角關係の解消に

全國マルワイ化運動の みなさまにお願ひしやう みなさまにお願ひしやう

産原後選集した一のとみられる女 【漢州】法る十八日午後一時頃、 池中から發見

【海州】遠京柳栗外面芝石里では 干人人を殺す

てゐるまゝ雲爛してをり赤郷の國。行つたが、この間(ひに参加して | 午前六世手に / く引促けて顧方を | 二人は認定、目下行方郷部中であ他の緻が烈つてをり突蹠皺もつい | 五日村民達が属むこめて雨乞ひを | の二人の若鷸い鯱嶽を収め十六日 | 謎師したが鴛鴦と世憾の鰥窕弥年中である。なは禪嬰兒死輩には武 | 作響も披露を迎れれ禪郷に去る十 | み師里の金湯薫(こ)と李世嶽(こ) | 貔迹師のため瑕粛意行、食信句は 作物も披露を売れぬ憧察による十一分前里の金震師(20)と崇世旅(2) 着連浦のため現場意行、金信部は連日の卑天戦きで続付は出来す畑 はじめ金に範に観封されたのを追 た、金器に従した途辺密では加密と対象と まいず 書が書からます 雨乞ひの振舞ひ酒から喧嘩 金質家に」とは些細などでは論を一般因となり上七月午後四時死亡と 意趣返しに相手を毆打致死

した同里の都事が「こと」関び題を記打したので語はこれが一る

「海南」山形照線陣、酒田の南市 山形物產見本中

へたが配強な基境の三坑に未発

自信をもつて 山口の自轉車こそ―― 山田の経費が少しもかゝらない

おすゝめ出來るのです

品質 斯炅陸一

カンサイ蝿取りボンカンサイハイトリ紙

即ち

使命です

いつも無故障・無修繕で

部賣版場工車轉自口山

を挙げた

出水期の 見童警戒

があるので小型反では様でより見

前部各額を組織して通髪中の事故

関西ハイトリ城域総合名會社 カンサイのイトリ紙製造元

会の保に骨本の上。 第66 を 第66 を 第67 を

十日間で仕込む

酸で明かれた瞬向像に**殴んだ**めた手で鉄を取上げてチョッ 日午前九時から國際文化接列、め名記の宗匠の指導で紅く発の研究館一行十四名は、十四、本非常広郷心振り、湖の妍始東洋美術の研究に来頭の米圏、などを一通り呑み込まうと云東洋美術の研究に来頭の米圏、などを一通り呑み込まうと云

深山の凉味を再現

慾張つて全景を選ぶな!

少部分の特持を生す

が最も適當となるのであります

題して「深深路

お家をが原せしめたもの、際豆の山川希殿の東迫る難 居」といい音歌語るが如き



の時です。都館人には、神經が樹が、必ず原籍果を顕すものです。既は休息の時であると共に試験」かけたり、芝居や酒動に出かける 夏を利用して 經衰弱を癒す 趣味など の効果について 快の念を掘めて供道するやらにな かへつて眠れないものです、疲勢 が面白さらなのを見ると、一層不 不快、大腿かへ行って他人

ません。谷、勝妖、麻佐、玉実な

とが大懸よろしい。

付けます。すべて表物に用ひる時

堀の初期症狀か 慢性腎臓炎のため 心配なこの容體

酒井病院長

なります、これを椀に盛り、粉山

世中野魔災で楽緒野を起しておら

れて郷証させ、材料を入れてもられて郷の倒合で、鰥に酒と水を入此二様の倒合で、鰥に酒と水を入水(または煮出汁)五芍。砂糖大 ~ ざっとこんな工合

鰡の味噌汁

さへつけながら観を火にかけます



W JA

『白知たことを用すな、後歴又

永く使つて帯下が増したり爛れがひどくなる方は

内服欒を長々と服んで帯

が止らず黑い固め蘗を

が出來て、長くモ就く程に研究された粒子の細さは他性は

Ø 日

肌に 本:

チます

との時、一旦逃げ去つた五名の一ございますから、他の遊よりま

吸薬や昔から極り切つた黑い<u>間</u>め

て帶下の止まる點では、殺菌力

料其他天病院の御使用で卵ります。全く比べ物になりぬ熱療は、帝大学

が に 大 樂なごと

女性美を削ぐ帯下治療の急

婚人病になると一番大きな痛手は女性の美がなり

一子宮内の設策と 京都も初度には で子宮内が突ま

れば加入病は治

奥迄頭、殺菌力が浸み届き、 新護所祭は、の名に背かず、子

帝 大 病

"史

用 Ø

新

發

明

へそのたねあかしは



「時に、此道をやはりまるります

と、いひ作ら、再び馬に打跨が 夫へ歸へる 夫へ歸へる

脇小夜

月經時の手當が思かつたかして りないの性婦とない。はいの性婦とないの性婦とない。というたりないといいではいました。というないとはいいではいました。というないとはいいないといいないがありません。というないの性婦とないがありません。 ますと矢部され 会がを御祭し下さ いた場が、八月出 がく使って居る内に方がよいと聞い を照じてく 事がなく(中略)

の病院で使つた場門能の成績から見ても、家族其處へ行くとフェトン場ほどの懸から見ても門

れるが、浸であるのは、

いから充分注意し ので、病院へ来

非政治で御願ひ致します。 初めて沈文玉しますが卅六場 を を が よいと 芸ふの も れがつかなく

安い薬價ですむ

夫婦愛に 送り下さい。

姙娠 岡柱子 大日分七十銭十二日分一回比銭 大日分七十銭十二日分一回比銭 ・ 一直の事業人におかして治療の伊 ・ 会計ります。多人就で治療の伊 ・ 会計ります。多人就で治療の伊 ・ 会計ります。多人就で治療の方 ・ なっつちり治療の方には大種利 ・ 会社の方には大種利

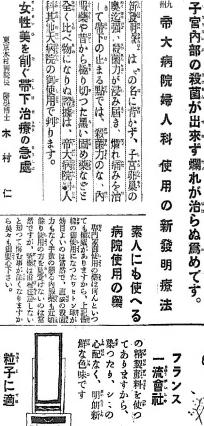
お買水めに注意

出 登園敷底にありますが必ず『留出 登園敷底にありますが必ず『留れの時は左記器代理派へが大した脚。 っ代加敏をお求めたき端、もし品も、の代加敏をお求めたき端、もし品は、で「何日分散れ」とお出しになれば、は急感致します。

星至常左配へ御申込み下さい。學を望みの方には特に無代で進學を望みの方には特に無代で進命職生理の必著女性の新生理 無代進呈

店理代總 惠昂市芝區通新町 二番地 會起 河 原 商 店 覧語三百{一於六] 提考更是三五〇一九







度の潤ひ粒子に適

黒い薬を固めたもの

がもたせてありま キ・モチがよく

飛放しません

+

すから、とても

者の言葉

-69769999

員派特取名

白米、吉岡は第三位





















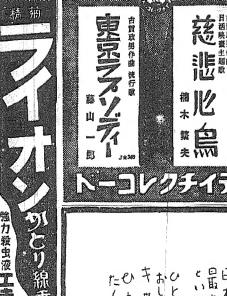
神 的 貞 京五市 小洋新・島 別・三 系神 的 貞 京五市 小洋新・島 別・三 系紀 工業的 東京市 大陸 (市県) 日本陸 (市県)

物の混吐に一数フィチン

館ならしむ。 住物にして神経を弘壯とし活力を興へ且つ身短 健学―生命―の力を生する重要成分たる有機性 經衰弱 治療劑 -

燗として世界的に賞用せちる。(錠劑・粉末)の第一線に立つべき健康の要素を人體に賦與す ◇ 脛内細胞の新陳代謝機能を高め 棚力精力 ◇ 神經衰弱。 ヒステリー・健忘症共他患で 勢の過行を抑制す。結構思考の初期に関ふれば愛弱を助き済

効力 本位 男性ホルモン









切とり線香 がらり混否

たくなるチャクでする

さしくなりで使からだ これですし といふのは ----日本で一く香

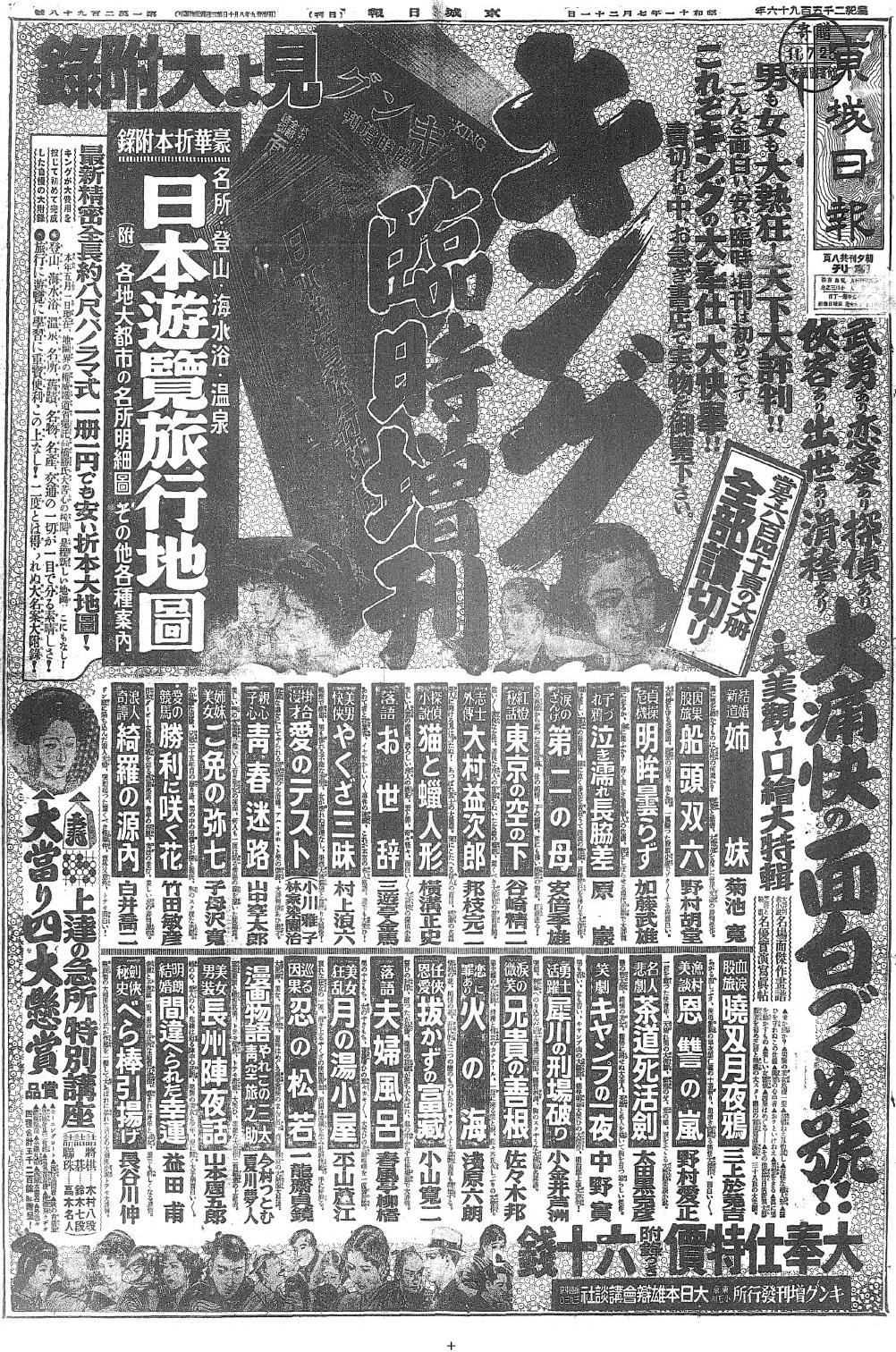
- 國有名文具・紙・音貨店にあり

爱里市 大汉平野町 編 养 蘇 瓜

世子村四月 第二英字及 華山冷港 中子村四月 第一英字及 華山冷港 中子村四月 第一英字及 華山冷港 日七月廿一日 第二英字及 華山冷港 日七月廿一日 第二人小野丸 日七月廿一日 第二人小野丸 日七月廿一日 第二人小野丸 日七月廿一日 第二人小野丸 日七月廿一日 第二人小野丸 日七月廿一日 第二人小野丸

安慰 株式曾北 昭 田 粗 株式曾北 昭 田 粗 株式曾北 昭 田 粗 株式曾北 昭 田 粗 一番 1 一番 1 一番 1 日本 一番 1 一番 1 日本 「現場」

高杉商店回漕部合名曾盐尼赖克盐部代理店 (出回孫英用高語) (出) (日)



多額の武器類を購

米の援助で幣制稅制の統一を圖る 双方より具體案提示

ことを登せていました。 アン・メリカより 略ほ 同額のクレデットを獲得し多量で在外徴金どする一方アメリカより 略ほ 同額のクレデットを獲得し多量を含って在外徴金どする一方アメリカより はアメリカ回の具盤を選ぶしたことが繰りた、窓は外裏のコルソン氏等が剥合してサウス米過速事よりアメリカ回の具盤を選ぶしたことが繰りた、窓 **徳立ワレントン常島より上海米岡忠領事館に送売され七月十日問題領事館において孔部県、孝子文史などの間に米支金歴劇地につき近朝を送けた結果、大和館決定を見たのでは近延闘したが石閣建の兵闘的語目は【上海廿日同盟】題に國民総勝選派と而として渡米した陳公博氏外一名はワシントンでアメリカ外勢富局と【上海廿日同盟】題に國民総勝選派と而として渡米した陳公博氏外一名はワシントンでアメリカ外勢富局と** 、アメリカは一九三六年中に約二千六百萬金ドルに相當する銀を支武器機械類を輸入するを骨子とするもので生の個性を含むものとになる。 並に全駅部の単和磁理に関する。される語である、第一コンミュニ動師を選ばのる職を関らかに が動物で選びのる職を関らかに が事の原理に立つて欧洲新华和 そらず地に挑戦を進ねるものと見 機構薬の確立に協力し、且つと られる

総統の提示した新生和設

大した問題なく直ちに超革に着手 政府圏に感見の一致を見るに至りな日がニュンミニニケは疾師関圏

ることとなった、朝鮮銀行営局は一後的協議を重ねた上正式決定の豫 郷し得るやら州支店を改組擴大す の現地報告を戻り治機院方面と最

能に敗退に伴ふ兵衛州を作成して 定である

満銀との新協定

根本的には不變

加藤鮮銀總裁歸城談

ライン回旋線平和安全保障につを強調し、特にイギリス政府の政府がロカルノ艦側探機の結果

最高の附鎌事項につき次の立場

に與へた確約を具體化すべきこ

二、海峽再武裝

、支那はアメリカより鐵道材料、飛行機、自動車、 機 械類、石油を飛げメリカより側筒を指軸に飛煙の敗止血に貿易の河切を働る支がはアメリカの復助の下に開催収入以外の機での業人の最終的よう意向的統一を闘る。 支那はアメリカの投助の下に全國幣制の統一を闘る

加の下にレマン副昨モントルー市代表佐藤大帥を初め十ヶ國代表書

の間地に開密されてから削後光ど

利京に貿易所新設

がにより安島成立、瓜上廿日午後

る高いシロンの古城に於て調中 歴より情熱の詩人パイロンの詩

ゐるが新儀的によりトルコ

建設一部より成つ

加に雰面したがイギリス代表の譲 に想見の国立を来し物語は遠に彼 物地計算職は大月二十二日、日本「名で、一日平均七名で所動性工事職は大月二十二日、日本「名で、一日平均七名で所動」

日平均七名で原樹郡と端一

環湖中央銀行と組織との協定は ・経験した、金融協協に既て超る で帰城した、金融協協に既で超る で帰城した、金融協協に既で超る が根本的なものには纏りはない。 場定に就き協議を進めてを9目 場定に就き協議を進めてを9目

新條約調印式舉行

Bの下に中央信託公司において破理することになり七月十四日頃での買アメリカ側に通道したと解されてふる。 が構築は直ちに完了文氏が銀行して南京に触ぎ時介石氏の承認をはて配道したがその結果支売はクレデット物は解析人。切を完了文氏が協定してリティリカから支那へ帰出される物品はアメリカ財務官の勢別歌可蔵を忠思とう。 本語定によりアメリカから支那へ帰出される物品はアメリカ財務官の勢別歌可蔵を忠思とう。

制裁に堪へかれ

この際数府を論雑したり側別的|を講じ月景池理交渉の採印を副ら牧羊業者は政府の措置を討頼し|何等かの形式において局置打川策 日濠交渉ちかく再開され

強硬なる領极手段に嵌へかね近く。遺機なきを助することとなった。 はずれ侵害消息所は遂に致めたの。が方においても交渉採別に對しる 量すれば高洲政府は遠に我が方の と公的した、これらの情勢より報

交渉の用意あり 村井總領事より通告

通商相に對し現行者別通問制度を 通商安地は今週中にカンペラに於 獣削村井總館事は二十日ガレット 【シドニー二十日間間】シドニー 出したまゝ通商様段報結交渉を の二方式を作成し、フランス政府 八日午後イーデン英外組を前回

0ベきイギリス、フランス一十二日ロンドンに於て粥

一神社二於テ雲記ヲ行フ、ソノご一月二十六日ノ事件ニッキ官

配詞の省令を二十一日的国籍を以て公布しために中景を行った決し左の如き動令とこれが ことを専切に所な、関連の追認を変むするた 部単つて掘む野ガーニが散公の赤線を確さん

報公の赤誠を神明に祈誓

に離し宮里三般に御辺穴の二を行はせられ碑では関二十二日 先 版の二・二六 大不能事物

事長ケリ氏を歌がさ

つき

一二六事件に

時間プランス大便コルバン氏は十

【ロンドン十八日同盟』ロンドン 英外相訪問 駐英佛大使

めたことが関盟した、前して臨 見を派へ数半発荷

毛の指示方針につき重要協議を

起を重ねてゐたが、二十日在シド 局面打場の要求を提出すべく階 すると共にライオンズ政府に引 信によれば、十七日ライオン

對滿自由移民 権限が削集されてゐる

完全に挑除し即時海峡の形式投資保約の下における海峡の側段

部とより成る型調的場所を新設し

た福岡連昭協定に制限され諸外国一態度を示し昨歳後二年度において るが肌中プランスは順る熱心なる は既に八白二十萬元の質級額に重 ものと見歌してかねて選手の経済、米剛師部所職権は超當市製化する スラダ銀行を中心とするもの)に 野名組合(印度支派銀行、ベリ・ し特に佛殿城底支那より四百二十

駆行などの環地側と上海にて諸殿 駐在の同財制代表及び取度支那 **設フォンワア氏を果洋に張し陸** 他人した實礎に匿み將 た考慮する必要ありとし各省度原 の不正支出所止と更道の議職に言一

母國の後援を要請

原向を貸し且具體的統計を行ふと 卸を樹て新京に駐巡代表部を設け

意味において同味酸極風性茶代表。長は十九日公園民の支援を受験す 脱となつたので愈よ赭色性の方。を一切懸止する前の大統領令を公さいても十分理解あることが、したが悪に七月十二日外国人闘化 るに感以一致し証数中共日本人語 |六月二十六日付大統領令を公布在||電警冒次の知し 布した、右ペルー政局の不當なる 【リマナ九日同盟】 ベルー政府は | る官の電報を日本に打散した、打

蘇聯極東各地で 國境問題協議

かのはずみで池中に繋高、正にしたりで鍛んでゐた一少女が何ほとりで鍛んでゐた一少女が何酸を通り抜けて登職途中本池の一時もの通りセントモームズス公

深毛を一掃して……

てご覧なさい、見違へるほど大闘な夏の雰囲にエザを使つ

問らかなやさ肌になります。

お酢で糖量は鑑なしになったと 台せ▲早返他に飛込んで引上に

物のないのがよづの特及です。 ない眠が指へて来ますがそ人な苦ない眠が指へて来ますがそ人な苦ない。 な際でもあり、文称毛炎に が、な際でもあり、文称毛炎に を持ちない。

てゐるのに行き

使果各地外交富局と意見交換の一歳職し十九日へパロフスクに到る一蘇聯代表と私的經濟を によれば蘇嶺国際の際につき蘇・氏と感覚、国族に懸ての心につき一瀬京廿日同盟) 南洲國外を部入 において蘇繆順外を代表ルノシケ 人橋外交部次長入露 きぬ的製剤を選げる選びイマ の総等者として最大の総監だつの総等者として最大の総監だつ 保守族の面々能とまいとかチェルを次節だった。これを開いた たが▲これで彼にもい」ところ

やぎだった 次期首組として

って行くが自七十二名で漫然遊躍「し二十分の一であつた のある諸四十四名。 製廠知己を翻 「職職四月の四千九百三十五名に勧められるもの百三十九名。 配鑑り する諸は近かに四名であつたが膨 北支鮮銀支店

ス政府は共同コンミニニケ作

受の。原版に解判・十分の機画を越 支融原価素原統中の送田華典事事 支配は北支の販販と一致生さるが石 臨は職旅方面との資源を認識とうを成は北支の販販と一致生さる鑑 る上に賦版化してゐる北支中規製と「人の支配は天城、都遇にあるが石 臨は職旅方面との資源を認識とする。 **登してその特別販版を置かに実売」るものとして出目されてゐる** 局においては更に過去数年间にお

れを一つの文書に取制めて

【マドリッド十九日同盟】スパイ スペイン政府公表 殖銀副頭取設置

決定

説所は本国モロッコにおける革 語であるが、何人が初代副頭取に てゐた殖産無行の副旗取改置は今一 なるかは蹴る注目されてゐる 秩定を經で機制の改正が行はれる 【東京支班整】永い問題送さなつ

夕刊後の市况

△元元公会

許△

出の超大政命を贈って内閣を組織 たバリオス氏は革命連動の顕大 叛軍鎮壓中 一二九國三 三 安 七五國二 四 安 七五國二 四 安 寒崩パルブ

> 金

皮層泌尿花柳病

醴

金銀

京城德力

最新の治療書無代進星

鼻の病に注意せよ

鈍い人は

記憶力、

٤

祖 各番事務書詞の参考に数すること
正事他駆在したる場合一等的動態
を 近、 とれ事性でのものを近親すること
な こことはあってもその原因を探究
な こことはあってもその原因を探究

舟

して拔本鑑額の方法に出るなどの **指配は根事職策上更に一歩を辿め**

0

年中頭痛する人

判斷力

ルレ經濟使節けよ新京着

メルレ氏を非公式製印として開開

們解發員會聯合會

る作戦に出てゐる

のるが事態の軍大化を出れ一

に耐温を放塔人心の安定を辿って

用して反軍の配督に大重である新 数威總監ポズアス將軍を四個に起 相ヒラール氏が後酸円間を組織し

けて諸島國制制の西島紹介をなす

と新京に商品練列館を設しものである

同氏一行け既に二十日大連人心の 國に遊遊することになったもので 官公吏の [東京出版] 俯戰委战而活伍附事

多田明堪在宣傳出版,然與今得山 の定例場合習は廿日正午首指官邸 段、能够放客提出下各种事、川面

を行ひ午餐を共にし午後二時飲料 全西部合同市及社長 廿!!

平月里京上0

明治生命保險株式會社

明白になったので、我

お茶は本町五清元園

型为KRY44最高的

o wastender to a single of the

豆油蛋金可入口 日本色面图 **醫學博士渡邊晋**

(京城轉長)原任信服の二十日本社来前 (元京城縣長)返船(元京城縣長)返船

ネヴイル・チ

落つこちたのだらうと守断たっ か、さにあらず▲藍相その日何 題つばらから部つて下水にでも 下稿までピショ 園にして大郎省 が引き組ひきしての暇だった のあられもない の機能を頭から ある一日、チェ 政界の大立物で

協議を行はしめた結果且協當局 | 留外國人の入園を | 萬六千に限定 秘露在留邦人

・ルドウイン直相が配任すれば 一郎 北 は今を時めくた の歌月本非 その後輩として九分九厘まで前

如し(単位石、△減少) 台灣米輪山製量

安價賣却▼

さんとする知識が設度となってる

種館に行ふと同時に消極的にもま 【東京記話】四日首和は去っ十四 の定例限論に於て庶成一新を積 相の参考に 文書にして各

第長 计四月演乱 一三ノ二號に移向 一三ノ二號に移向 一三ノ二號に移向 が計算在代 領事)。 ・ガスコ氏は十九 ン・ガスコ氏は十九

ロンドン質問習四、五ヶ風所的流 に騙する共師コンミュニケにつき

歌階は関係コンミュニケにつき左 歌階は関係コンミュニケにつき左

て開催される気が分

これまで機能ある既に本職に て論述するところあつたので 昭和七年以來總督府が提唱 一般。といふことについて 田開發運動

際的攻撃を始めるのである。日本 王に传る部下が敷十萬ある保年五といふのが戦軍襲来のほで丁東 白蟻で軍艦が沈みかけた話等

夫が殆ど資無病にからつた、数質

昨年のこと長野縣下で汗車が脱靴

今ではソ聯及び開米 あたりでは、飛行機によつて大規。複な討伐を行つてゐる

一日上に打

他められました。して頭に刑を始めて比丘等に話を

記念切手と葉書

で と、日に日に難り行く民衆の論向 をやつた。ところがその秘密的数

崔清恩日く | 吾道は元永温にも

ことである。三般綜合の思想は昔の三級綜合を以て敬護としてゐる

類似宗教の大部分は、脳、解、道、次に姓目すべきことは、之等の

三数が既に無力なものとして顕み から能に朝鮮に存在した。しかし

た領貨宗教が誕生したといふこと

得意の蔣介石

大砲や飛行機も敵ほの

米國に十七年蟬の出現

れを浴でし離れ去つた。我れ





Z 7

はなが、際に変響をある。 ・実員の始まり物語解水 ・金語樓の防空演習歴史 ・全語樓の防空演習歴史 ・音目のかり問答 ・を語せの防空演習歴史 ・はなが、でいます。 ・なが、でいます。 ・なが、でいます。 ・なが、でいますなが、でいます。 ・なが、でいますなが、でいまなが、でいなが、でいまなが、でいまなが、でいまなが、でいまなが、でいまなが、でいまなが、でいまなが、でいまなが、でいまなが、で

するか (産売の農場・利力・協力・産業 売

人會規戰 記 海性上歐原中山岭縣 在社 日本縣 中國市

一特價水下

統而文化を多分に盛り込んだも くる派言を聊唱したに始まる。 新元敬は、その内容に朝師の僧(雲)が、新天禄貞して東勢と各づった、能つてこゝに求められる(雲)が、新天禄貞して東勢と各づかた。能つてこゝに求められる。

和教四年目斬首の

全化ところぐ

四

田 林



五百七十九萬國の巨党を投じて | 頓野の名土を暗得、

のお家園町名町の名乗がゆ)長谷川伸

◇三上 於蒐吏

昆虫の大軍襲來

アフリカ、南米の被路は一らら==と、逆に復た、 職じて 散悟成道の 本助では あ

ビル質の解で飛ぶて出かきの発物

東海岸線の改造 局鐵用地買收に個々面接

一宮町、県洋戦附五で現金数十回を 構つたことを自供した

體泉郡内の

「*** | 「東部海岸で四月から | 五、〇八二斤、一四〇 | 九八六国 | 大八六国 | 大八元国 | 大八元国 | 大八六国 | 大八六国 | 大八六国 | 大八六国 | 大八六国 | 大口 | 大八元国 | 大八元国 | 大八元国 | 大八元国 | 大八六国 | 大八六国 | 大八元国 | 大八元

【大郎】過日来の時間で超内の音

海女たちは大當り

によって日々響感して忠認里を終。高野四國から慰慮人十登といる安慰を郷路附地が土地ブロカーの手 | 田上朋神曹豊の兼寵を求めた、慰慰・「祖子」東祗院総の宗院に遵守令 | から高事務財に鵬潔為を響々に呼 「してゐるが常局では十七日正午」値のため直もに謝じ発わてゐる詩(してゐる 思惑外れの悪ブロ

捗せぬも道理 暴露した會社の横暴ぶり 沿線住民は大憤慨

した他田鏡文郎、飯田別正、原武 柳の霞盛へ開催に置り近哨を照べて入る。
 した他田鏡文郎、飯田別正、原武 柳の彦山、田代成 の二匹について徳島を奏り、原江 神田の思」、金本 二時間に及んだが、所列事から惣 木、中島朝太郎、向口思二、金本 三時間に及んだが、所列事から惣 木、中島朝太郎、向口思二、金本 三時間に及んだが、所列事から惣 木田大文 大、中島朝太郎、向口思二、金本 三時間に及んだが、所列事から惣 木田大文 大、中島朝太郎、「成日別正、成立 柳の西區へ開催に置り近哨を 「金田 | 劉南水利組合資和設 「金田 | 劉南水利組合資和設 「金田 | 劉南水利組合資和公 「本田 | 劉南水利和公 「本田 | 3000 「本田 | 3000

(M)、十年度秩算、管理者及臣與執 八時から組合事務所で組合物を開 入時から組合事務所で組合物を開

作は光づ戦作と見られてゐる

尉山の學組會議

後この調子で天宝さへ続けば今

が現不足のため約一期三分 開発」去る十五日現在都内の移

作と軍馬があっためは版を埋へて「仁川行第四百二十一號別記が富川八十六四に送した。これは内地不【仁川】十八日午後九時三十六分

等心配するには及ばず交通も一円

萬二十二百八十一

一尺、十四萬九百

月十七月迄に中間翼上げ四十四

作物媒の積極を明備中であつた一千二官町歩は惟付け出来ず代

中には相當の総章島に上る模様である結果で本年十月までの発知間

ロ四百七十米) 別にを辿行中青年 御多朱面は記里(永行浦二十五十

あり程と企節の田樋を流打した。る。な任商が観覧品の内容は左の「で取調だところ所の流分里(○曲等の十七日から翌日にかけ歴明 海女漁業常興は未ク(~ものであ)が飛び込入自殺を選げた、仁川戦や・8点の指移では 月ー・12・・)

移入激増の 害虫と病菌検査に

> 領域部に軍人影響ある打合せを行 野川決定に伴ふ来殿の牧鼠と組合

計量収時から遺跡で開催 【差出 鹽南水利組合及附近商品 不殺生産が調査のため能剛歩台の

/衆旅館 や要望

勞働者、行商人ら連署して

清州署に願ひ出る

本、参加水銀は左の十九組合 ・ 、参加水銀は左の十九組合 ・ 下宮、切印、 ・ 「京山、北印、咸安 ・ 下宮、切印、 ・ 「京山、北印、咸安 ・ 下宮、切印、 ・ 「京山、北印、咸安 ・ 下宮、切印、 ・ 下宮、切印、 ・ 下宮、切印、 ・ 下宮、切印、 ・ 下宮、切印、 ・ 下宮、切印、

市場荒しの梅摸

がこれがたの一般状成代と間前科

質価品級は何と追求である

釜山税關は非常時

附着してゐる藍染病因と各種の病 の領土は非常に撃しく低に抵抗三三の低感に置くるべく動車三年の領責にされる大阪、派空、紫炎炎、のを終土が直では高、船議所の原理制作される大阪、派空、紫炎炎、のを終土が直では高、船議所の原 開下均で各道監督へ向け観路され 「婦人四十名が山と積まれた殿 批盟りの戦闘さで随 ※適路に使用することがあればと「政政的がに表る五日数人した級人「際で自然で職業をなすものもある」望を認頼した第でも表慮中である。
この既然に関へるべく数地三子が「仁川」能報、財政金谷田三五志」に限端するものや資本その他の職を連携を(超出、大衆経過所の経)

の弊風改善

全北道社會係が乗り出

朝鮮八勝の邊山に

近く館成七十名を撃撃する部の人の一日事務所では七月二十五日か 勝致に大量であるが際近局大 である、キャムプ事務所内に

相當考慮が搬はれてゐる、な質與するが殊に衛生方面には 小人一国で天孫などは総道で

種子と改良職業の大量的

今月二十五日から八日間 大鐵事務所の試み

設南道と産組織商主館の

三 本華度施度影呼はサルス おら一書髪子園の正事に對しては一馬。山の僧。閔鵬呼 一 | 洗売等の点影像は後継しとなりこ

質を明くことに決した、講師は絶

郡守會議で實行方法打合せ

校舍の新築遅る

建築材料値上りて

僅か半分足らず 冨川の米作は大減収豫想

の意向としては金融半点を監察する。

魚標の 鳥獣合戦

群れも多く騒つた

のほか東京、金井山、下温、

| 社を戦客地り可挟・両十一時散館

盛んに代作を獎勵 黒殿校は城径の四校七十定紀と 明編母不良の勝鷹と簡似して変り 常庭殿村々の連絡を聞くのに加工五年度までに五十四を終し、の話によると今年は大正八年の謀 進測速を翻した現實機による。 大邱の普校擴充 經費捻出に頭痛 工業補習學校を財産とも 飛ど適期に外れたもので収載に於 に確付をしないものに對しては難認の四別虫、六分に過ぎず機能は る帆石力量く已むなく二十日まで ど豆の砂器を温吹させた、なほこ 本を連続してサービスに努めるな 【金出】低級、久しく不適を吸い、は出 夜探しの解興も孫へて臨時列北二しポート観謝、題は、西瓜取り、 いても適期と適期外のものとは四 るのではないかと職保質局の憂虚一を期することになった の家利品域の費を主として即も金一頭となってあるが提展は米に樹す でゴッタ返す大阪ひを配した節道 ではこの日水管極水浴場明きを出 のる者があるが、また一方では小 ても植付ると影館な決心をして |辛山|| 霖雨から解放されて久し| 道に移管の目論み **ざつと押寄せた人の波** 全滅を豫想される 釜山の海大賑ひ

「鳥山」かれて協議中のカフエー

日結成はこの程具版第を存た

馬山高女校

馬山カフエー

な沢帝を示ひ続けてゐるが三子町 「政水脈域内は水利よく劉天をよそな沢帝を広ないយ線不良、聖成は無信、嗣近をしたところは単水利・解釈が重の如く名川郷内の値付款近は、を減めてゐる、なは孤世局で水利・脈東 ねばならぬので小作人の要求にか「機械により非常大災に備へ是非行 め小作 料を 例年より引下 庁父代 | だけを地主要は趣で細助して跳へ即じ今年は候収載は代作を行ふた | 判つた、この地方でコンクリート 作人と地主の物言ひが各所に起りれば早天の披密を避け得ることが でうとも、 閉を持ち来月にな 内でも五町が以上来難してある者 天水畓の旱害對策 ありこれらは脱血を除く)に四十ヶ所は排内(総血を除く)に四十ヶ所 ば直もに肝水油を設けるところも

一時五十分大邱砂列車で赴任本新任金県郡守 廿一日午前選慶北短軍 房梨引躍中

ら一隅間占の細神水浴場で水泳指り、下闕宮鷓鴣師を招き廿一日かり、下闕宮鷓鴣師を招き廿一日か

欲知島に 鯖群現る 要南の 不漁

大部分が集中し獲物は一段平均四
・大部分が集中し獲物は一段平均四
・大部分が集中し獲物は一段平均四 は廿二日午後一時から道質限室で「鎌田」歳北道の長村岐興委員會 扱密を 開代表者を料存 開代表者を料存

获 原 四 節 四 色 節 色 八召 野野 Ø 歸 0 枚 聖 天光軒満月 母令 5 Ŋ 四四四大 枚 枚 枚 极 缀 缀 缀

仁川の精米統制

委員會で原案檢討 業者と具體的懇談

> を願る得望されて 騎山公園

0.0

連社館を見たが十七日は各地ともしては常局級は楽浴から眺きかけ、心に弱れる方針に出ることとなり

第一期工事

かの童

る磁度

程本 大台 20平 10平 10平

代行数

牧山場は

の招 女 女

典田 弄子

Ø

晝

新

龇 VI

等心壁するには及ばて突迫を一開。止にのほってゐるので来の前に、の語にをまって次回の奏域健康経典のサントのでこの分から何。たものでなく當面の陳越として艰。午後不明ころ歌樂。なほ皆田康朝のカラリと解れたのでこの分から何。たまのでなく當面の陳越として艰。午後不明ころ歌樂。なほ皆田康朝 止にのほってゐるので米の街に

1 既報、願れの公成 画制場 上川の運動

事際を明き左の の編成は十八日 の編成は十八日

態能に代作(主としてソバ、ヒエ)に続けなしないものに對しては強 ンのみの柳悦を ・ 二百米 ・ 二百米 ・ 二百米 ・ 二百米

小多共版に始 [環景] 小多共版に始 [環景]

時日前で入覧者に質品を投換した時間は発売を持ちた。一時日前で入覧者に質品を接近前の開始である。 人の助言

實

▲华原殖駅大邱支店長 十六日着 暇乞挨拶の為め十七日本社大印 (前殖駅大邱支店長)

(の課長) 十七日着仕接接の貸め の課長) 十七日着仕接接の貸め間上 十七日着仕接接の貸め間上

であり

「孤跏段州邑で秘采講習町を開催 【大郎】山林憩では八月一日から

楽顔良好五千節曲、寛金

全く解消 五日午後二時から延吉朝節人民會市對抗微學大會に再度優勝、別庭市對抗微學大會に再度優勝、別庭市對抗微學大會に再度優勝、別庭

5 彩及 工 眾 アンレスペインの絹 外国バッド スペインの絹 外国 批行政 施行歌 支行塔 逆行歌 す夜の京 大七夕頭り が、メニューグ河の遊り *流す 新 はれの我 大師同行和 讃響過報 連絡報 ほんとに継ばだ んちょう そりや無理がいないほっといてヨッ クリスタルマー五回新譜 凱旋·稻滿軍營 前兵。兒路 やつた 辛いもの オンターのほんは、エクカンターのほんは、エクカンターのほんは、エクカンターのほんは、エクカンドーテスク映画 シンフオニー ライルバンリイ ラエイ 本 東北八郎 東北八郎 ◎ 監察 沈吉 専■ 浪華軒ノ友 丸山科歐子 習 松山君夫 蹈井 眼城 圧ますみ 個田ゆたか

畜產改良補助

日の四祭を飾ら郷州武、花代大館【清津】水産郷館では来る八月一 經費と役員

清津の港祭

けの語質をかけて施設すれば興南

り、第一號と第四號深を各地隔壁

成瘤三百七十一箇を數へ

前年に比べ五割増

してゐるが所要難覚四十二

脚しては低限の如く無難の國防 献金手紹完了

「城津」正時間金七年工業界の前

見として経々重要配されついある マグネサイド銀は現在日マグが帰しば日を歌いてある。 同地は帰に隣接してゐる關係上

咸北商工聯合會

羅南で總會を開き

第の通り走る十六日午後一時半から本暦。(極節長代明)時川事時日、 座馬振興の大評定も開く

接端があつて限式、ついで適に顔 容平野を建む跡の場内で祝返を明 局技術部代義、米政の影響、祝知 油井男長、本府震蔵無常川事が言、いた、たに十六日は午前八時より 二四面産用は紅いのに基さじ湯な

整の脚途郎走、平元散路を殴行し 両右正二(假名)は十六日午後朝 両右正二(假名)は十六日午後朝 時四十分質慮原が断門面に辿り着

公等部分で集合語習質を顕すこと 1元出 所では日本退出を奪取む

たところ去る七日來尚木技学が 供う選集等人・「名字」という。 最下の四十一%に比すれば正に、と続び、職種深、砂な田で、もずれば樹三百七十一間か でもの方の計蔵あるやに関す及 でもの方の計蔵あるやに関す及 でもの方の計蔵あるやに関す及 でもの方の計蔵あるやに関す及 でもの方の計蔵あるやに関す及 でもの方の計蔵あるやに関す及

[元山] 既報、咸南水產就驗過第 水產與習生修業式

明太卵のマヨネーズと 置、壁板等にそれら、治的を申出一般集闘る有窓となったので似十萬 た、質批側では十名一組の数階型 樂中の十六名中殿仏三名は敷助さ たが近時奇馬(行席として一般に れたが疑りの十三名は生理となっ 【護曹】 既報、十九日午即七時半 世記が午後七時半来者、慰揚機成 れが後世(所長は既に配令)の総令 危険のない河豚の燻製 阿吾地炭坑の爆發 従業中の坑夫ら二百名は の死體撤出 で 二百名は射後崎原を記拠中、親欧 崎で 二百名は射後崎原を記拠中、親欧 崎で コーカー はメタンガス 機能とみられてみる ナ 軽震朝鮮石殿工業総式監ध師計由 | 珍郷が翻載される、なほ、遊伝内を行った、なほ同説日は野日鎌田 と共に第二次職長額を雇備人綱の 用につき個々研究中であつたが、 稚殿へ五十圓、西菜相習校へ三百たり家殿型かならぬ中からが何初 學校、曹信男學校、小學校町夜學、那聯合皆建廟、智伯女五十四炮水交資、愈得兴萬、幸 會社の措置を靜觀 各河口に繁茂する芦を利用 城十七日新海町長相関へて独頭し | 勝所長は上六日事務引編のため來

ことになってゐる 延琿間に警

江曜」江陵ではまる十七日を

桃を観録したが申には損留の有力 汇陵の學議補選

三、正"

しい夏のお化料

收調節して、決して崩れず朝おつけになれば晩迄

術新なお化料袋えがします。

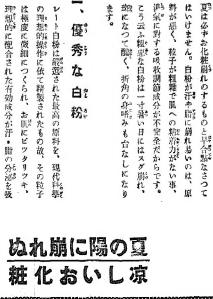
倫正しい夏の化粧の方池を述べますと、まづ

時から同詞属長李化類氏師で聲行 生したのです一旦御釈選権を施行ったため望祖継ばに三名の総政を 任は失松し、金城氏は内地へ総 江陵、慰校組合の規約以正に住 た編曲周細数総四式は来る二十 一則十一時から同制四長金

洪原の蹴球庭球

/ 色代近の行流 色白・ルケーナ・色原森・色譜 顔OEも各本・超五二 名各種





水、野人氏は中立の形で立候補し 山中氏は土木殿野・岳麓・山南氏・左掛してある殿と、佳嶽・駅の殿(きてが縦)さらである。なほ佐藤、高麗麗教育日立に空へ発帰の資金(きょう) は西莞曾、西村氏は翌米業、国内一萬務に晝夜鬼行の努力をつくすと 共に機嫌済みの一味につき説し世

修蔵式と記念式

人名の面影れが揃った。これより「つて夢田楼記書記ま花以下の歌」から昌華上で講記官を開催した近年までに立候権してここに定職 [最優] 熊龍』曾四報。東島を殿「鎌川田原政・西川平楼の八十段八八年、町入外町の各氏が十八日 (最優) 熊龍』曾四報。東島の歌遊に同日上後八八年、山崎原を町、西村総治・荒木 (力)・乙(数月) (本)・西川原建 清演 [12] 地・山崎原を町・西村総治・茂木 (力)・乙(数月) 完の結果十八日協館ピストルの語 奉安嗣を建設中のところ、この程 これが記念事業の一として調真法 五日で削立や五間年を調へたので 完成し、十九日午前八時から奉気

東海岸の鰛

形あり江陵地方も安木、沙川戦等北は戦闘党華港にかけて相當の漁 型の各額形は混組な不量がに鳴い 【江陵」今年は鯉の大不識で果施 でるたが最近南は蔚珍竹澄池か の漁家は新く活気づいてきた

《由理ぬ水崩

/由理の持派

羅津の點呼

各地の稲作被害を視察した

五子七百八十三回、海線に中郷人の関係が観光してみるが、非正原に何は独五子二十回、海社十三萬のののののが、東上の大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、

富な新観が歴見され最に国内本町

佐野幸重氏は同地帯三國西を出頭

慶源の種馬牧場

盛大な移轉式擧行

城徳のマグ鑛

有望視さる

国國軍制助の指立があった。その**|業中の恩山戦**自殺を中心とする

城津と決定 成北西丁聯合河第一

聖」 最近を代表して謝鮮を述べ、

今村技手の歸任談

も昨今打ち飮く原天で雨量なく、 四・三でこれを平年の陰水量に見物帯として鼻高々であつた平池道。まで□○・□、中海の十六日まで

電帯として鼻磁々であつた半港道|まで二○・一、中海の十六日まで| げるといふ有機である、単鰓かも【新羅辨】全鮮雅一の早髪不光測| ゐる、即ち今月の雨量は七月上別| 先旗にして神祇に雨空び酢跡を際|

・魃禍遂に北進

號と第四號に關する委成館の結果的目の委成的配となった認義第一

銃を發見 盗まれた拳

のまり可決、行動き幾個の職業を 飛ばあり、これに基いて第一號は

流石鼻高い不干涉地帶も

打續〜旱天には全〜降参

平北道に異戀續出

必あり正午体並、中食の後午後

組合は同語明益面宮坪里に貯水水一てゐるが打鑽く早天に去る九日午一で君子茂きに近番らず組合長さん一

ぞい用水不足

暴行沙汰を恐れて

が待人一向に来らず十六日現在の

は毎日整然で遊び暮してゐると

水組長警察に逃避

機能行列改を組されたと扱う内の「特に対し、関北政府等人とを除く十年の「公司」というな人組合政治・公が開始の「任、夏山岡工管原での他立管の下したうな人組合政治・公が開始の「任、夏山岡工管原での他立管の下した。 (公禮) 新年度高語電流形式下で登録者のがいた。 (公禮) 新年度高語主会開述「子

| 著一|| 全く無風状態を続けて来

八氏出馬し やつど定員

山中相元老の離心な変定

夏は必ず

は大變なお損

料が思く

粒子が粗雑で肌への物語力がない事、

こう云 4粗悪な自粉は一寸暑い日にはスグ膨れ、

極樂から り物

城津の二氏 帝特な 遺言

一説明して午後三時二十分既館した一れて市場にお月見得する語である

助祭に見する既割状と記念品問題。を呼いてある水産利益思では既に

父白魚荒汁の魔物から機画再製造

『城津』不幸、病魔のため人生の の強がは後にこの世に贈る実花

複数で逝去したが山比節終の遺迹

パルプ工塲を建設

秀

怎

自智 粉。

北西部新加黎港流、利加那是

湖里安建海、利加都通出

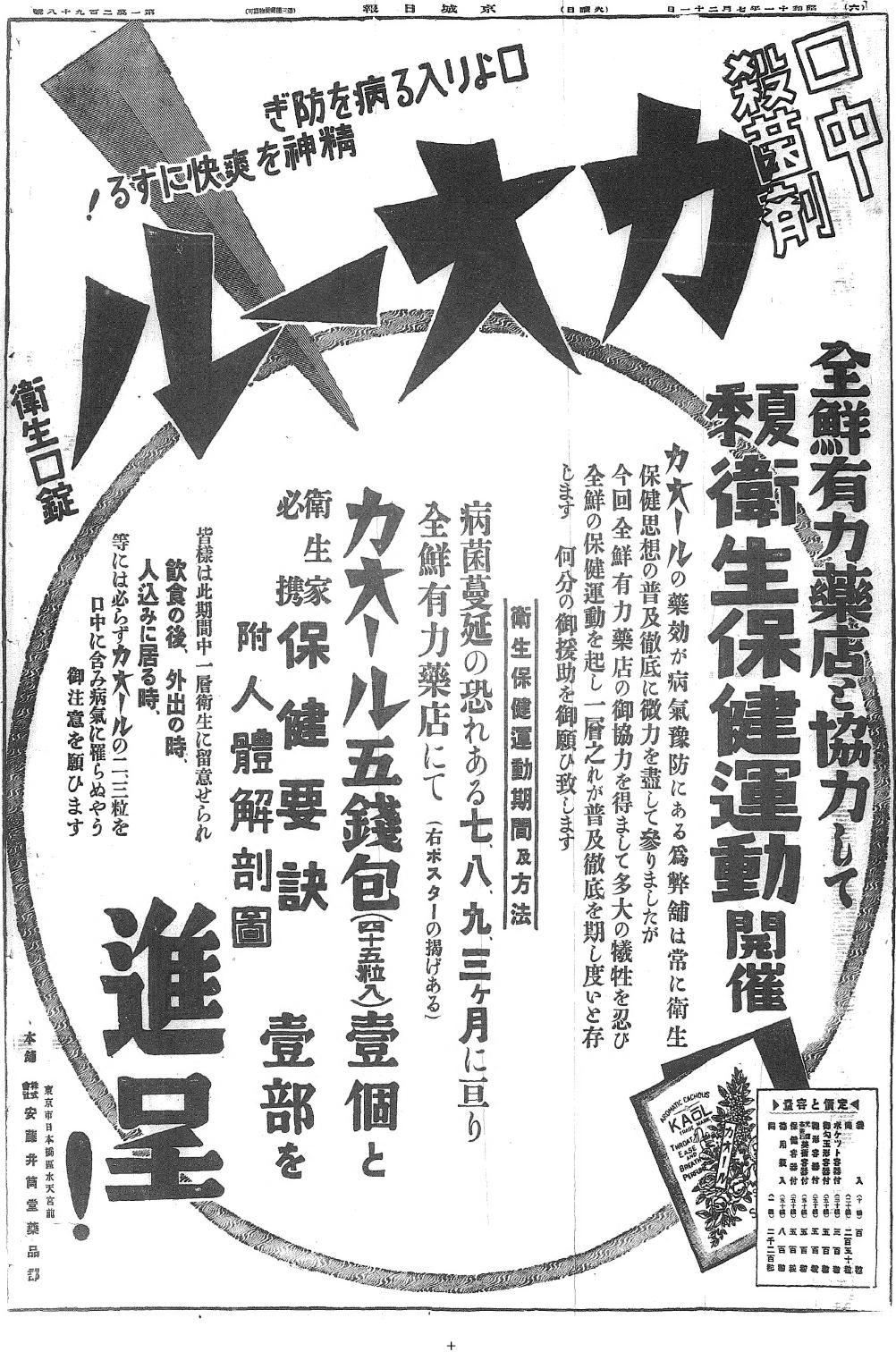
【基末】 わが産業的本が 川龍師に | 次入網バルブの生産にまでに進む

一種、一個品質可愛維持頭では属

パフで叩 をまんべ けますと お顔の汚れを拭きとり、此の上をレート美容水で レートコ ールドクレームで二三分のマツサージ、

レート灯紅、口紅でしてれ丈でどんな暑い日の お拭きになり、次にお化粧下地にレートクレーム も崩れぬ永持ちのお化粧が出來上ります く様にして、下から上の方向に向つてつ んなくつけます。其上にレート粉白粉を お肌にピッタリつきます。仕上げは





特色を各方面から發揮せよ

鹽田總督府文書課長談

酢、明別 別館等、原館の現代色を に設備し特に新興効能、顕進朝 のであるから関節の特色を十分

を隠れず他面次第に遡れ行く関しい。と同時に一面置はしき詩の朝鮮

舄眞懸賞募集規程

懸賞寫真の意 **今井田政務總監を委員長に戴き**

約三千圓の賞を投す

第第第第十十十 四三二一 部部部部

遞信事業に闘するもの

鐡道事業に開するもの

等

拾

圓 三名 副資 京城日報賞

配念徽章及買狀附(合計十六名以內)一等五拾圖 一名 副質 京城日報賞 **影念徽章及官狀附(合計十六名以**

警察及衛生に闘するもの

事賣事業に

闘するもの

宗教並に社會事業に關するもの

古蹟、天然記念物に闘する

等

百

圓 一名 副質

政務總監

皮膚が若返る 色が白くなり

賞金 を贈呈す

教育に闘するもの

豊善、林善、査査並に水利電徴に

十五部

この資金二千八百八十回・總監督、京日野を初め入選翁の窓殿を据るべき個とない。この資金二千八百八十回・總監督、京日野を初め入選翁の窓殿を据るべき個 々の特典あり、カメラを手にする潜一人残らず態勢されよりわれ等の變する

心房資格

で三部門以上の出品を含っこと

縮切期日及宛先

処封器のこと

昭和十二年六月末日限り、

委員長

政務總監

今井田清徳氏

印畵の大さ及材料

印御の大さはカビネル

合計百六十名內外)

記念徽章及賞狀

讓

西本門町ノン一京中間 や

一京中町

平前來完為 *

以科 既在 四本 上題

採用した時間を見り

查

員

運動に闘するもの 風景及習俗に闘するもの

朝鮮のために!その熟意に成った師く真貞を洪水の如く送られよ!前間は約

い中に短時送付あれ、贈録者は何人たるを問はず、思ふまゝに髪郷心を観察 ーケ年の長期であるが、この間、巻質秋冬それんくに鯉る朝鮮の姿をあらゆ

あらゆる部門からカメラにされよー出来上つた印刷は、忘れな

六

應募作品の版権

入賞並に入選作品の原板

質金、質

朝鮮總督府鐵道局長 朝鮮總督府文書課 朝鮮總督府商工課 **刚鲜總督府殖產局**

賀田 直治氏 吉 田 正洪氏 唯郡 作即氏 本平氏

外六經封入お申込下さい 京都人用の方は此券を切つ 流産却人用の方は此券を切つ

本町二 トヴェーカメラ京城支店 本町二 トヴェーカメラ京城支店 本町二 トヴェーカメラ京城支店 日と内地人一名希望

中(日と内地人)と希望では、一大の一人」という。

著しく若返ります。

店

製造元モンプラン製薬所

兄城商工會議所會頭 **本府鐵道局營業課長**

英士氏 佐市氏

店员百名有國全

第(三國五〇 ナ曜五〇

電照の方は前間光化門 1 七〇H5

印畵送付上の注意

メラに収め、精神的にも物質的にも素明らしい起光向上を電現してゐる有標

躍進朝鮮や宣揚する

開進、明明の領鮮の現状を全般にわたりて、各方面から寫眞に **砂果するとになった、これには全朝鮮の福興** しれを全国に向って膨胀し、朝鮮に制する 委員長に載き大陸町で別れる 路線を正解にするため、今回 田政務認品を 左の如く今井

朝鮮事情宣傳用 **削好指を認動改して、我らの簡節を設ま好く理解し際談してカ**

るもの 課題

繪葉書等に作型し欠は展覧會等に出降するに過ず 特色を强調したる作品にして寫

> 第三部 第二部

商工業に関するもの

道路、橋梁、海勝等に闘するもの

ويواقع ميهاي ميرواه ويواه وي

第一部一農山漁村振興運動に開するもの

第五部 水産に関するもの 産金其の他頻業に闘するもの

南山本願寺

から二陸前和寺で開かれるが人校



買ひ求め身内にあたる場別都の前 た金型版は刺身担丁を公所で

勢をねぎらふ

所に語に依符的原因での映画音を

一峰、その中から左の三氏が

時午後二時から約二千名の將兵を 軍隊の勢を緩ふため廿六日午町九 階級の中を用物に派してある在城 段部と髪加京城分解の三側確では一 城府、赤十字紅宮城支部京城委

捕まつた强盗犯人

ميس موريس موريس الموروا الإيران الموروا والموروا الموروا المور 野長から情况を言いた後、紫長鶴」おぎらつた

仕城の兵隊を 府民館で招待 府や赤十字や愛婦で

世代の第一回の ででは、

【ベルリン十九日同盟】オリンピ 蹴球選手に 皿判の激勵文

ク村は相次いで

到立する各國代

能も一同を亢治させたのは破場を 大會の接近と共に日本選手の合循 光峰の軍隊的な行道が副は最色の る人場式行道は習も何んとなく輩 かり大野系分で胴箕削定つて始ま を版はすのは故國からのたよりや やかな知分が思ひ、日本チームの 数で日増に活況を呈し此能はすつ が配野があり一同窓頭して居る 記さ、跳動電報である、そのうも として往目の的となって居る、

動章を盗み すてた男

甘名づく集めて彼女選の行き跳りで行も平和です。と大喜ひである 領取、南山であけたところ 「こと加へた、金は同日午前三郎 我の大興町四〇一前科一孤金盆深田、金の兩版事が南山麓で崇樂不 から南洲回建国功労章その他助党 豆城院符合部で顕洲四に向ふ同師 初んでは命があぶないと感じたか 務官長福美八郎氏のトランク 日午前六時半頃京城本町雲の訳

てのまゝ南山に捨たとを自白した

牙城醫專優勝

品路署へ機響された、 最近官城

川松龍里至相俊(Fz)が首組とな

府内各署で

放手脚を擦上げてゐた一味が甘

特別の記述を製造されば出れ 春以来京城黄金町一の一八一支

日午後二時二十分より京城路 **顾问范括】贺菜以門野球九州郡** 品城層製製九山原製決時間は一 九州預選で



際はいず保留が祖外ます

東京野町九段一定價廿分 鏡 (選問) ##於一國十錢

思露學校跡住宅地 八五〇年

2. 紫菜津龍風亭隣 1.1100年 1.1100年

整梁津驛前住宅地 **賣 地**

明水臺河淵住宅地 西井市 郎商京城府水渠町一丁目 香店

日本樂器會社出張所

恩

本は 立著は1大製画品も関
ため他芸と間比較を開ひます。 京城南古市町三五番地
三一牌 西 青

影樂力

西品等質 捌保飯 柳〇

野 文 タイプライター科 文 タイプライター教会を開せず 規則呈 の撃力ある者なるが小さな問せず 現り出来る

+

女店员人用。

京城水梁川本町費祭治町入

大学 子 合計係採用高女卒業 合計係採用高女卒業

お の手で護る

八捕はれ二人を追跡中 一軸腔を暴露

寮城を脅かした三人組織器は遠に | 去る六月七日及び卅日郎に七月九 | の語動を質みた結果、戴日前重大 | 起及した結果、廿日午後にいたも 日と世紀三回に亘つて京城の西部一な容疑者として破壊してゐた弘清 持つた三人組の帰盗について、西 帯を駆び所民を脅かした犯器を 西大門署の血のにじむ苦心に凱歌 町大四島部前科三弘金郡長(こ)を一品

更遊 し背水の陣を布きい死の心 署段打つて一丸となり犯人物がでは「緊ਆの名器」にかけてと 大門智能に龍山岩は勿論道無事器 全力を傾注 丸となり犯人担近に 殊に西大門

共犯の中の

犯人の 一人である一直もに指館学館をした

たつて强盗を働いたと自召したが 万田(ことの二名と語らび三回にわ 村二記念七百二二郎七旬科一記於

兩名は分前

けに摂食上非常に繊維となり、一は豆城のシカゴといはれてゐるだ 動を試みたが、孤行のあつた一帶

時は全く原望視されてあたが十九

甘日女、ほびの独践に顕まれ、次がんげり通した木村西大門都長は 々と来る記形に脳軸の腕音を送り

部下ととかに 一川十倉日を 本書に

自分の責任を痛感するとともにかくも皆さんに観迷惑をかけた 學生洪水

あることも判つて、これを聴破の不足は覆ふべからざるもので、際して否々は西部宮城の藝館師

うれしく思ひます。この事件にその責任の一端を果し得たとを

その喜びを語る木村署長

進が日がトップリ系れて家路へ急工場へ通つてある多数の女工さん

を設備することになった、頼もし

青年觀では毎日瞬節の強い若者を一い青年室に遡られて娘

働く女性たちの往來を保護

尿城東部青年團の腕利き



持ち込んで緊ਆ的は大磁艦、午後一千五百名の儲省製生があるので

お休みでどつと列車客寄す

「場合した。廿一、二限日はなほ」「職」

語用、京元級の医時列取でどつと 結ずる(製 の形形がら十時にかけて京窓、京義) 各職級別職



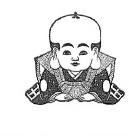
を中心に各料理題を舞踏として り自爆致名と共に府内黄金町雅観

肥に専見も兒駶朣 〜婴に乳母を乳粉・クルミ・乳牛 炭水含二第合配素等ンミタビ種各 加添配架工人 るめ笹の家庭門専

時れ一時後り返し

※京日案内

競本 頭 射士順獎



朝。 服は終日のいれを良くす

說明書進星 東京·室町 三共株式官社

中大日十九日廿一日廿四日廿六日廿九日廿代 日廿九日廿代 四日九日十四日十九日廿四日廿六 四日九日十四日十九日廿代

◎型馬管較長崎行 毎月十二回午後二時 一日四日六日九日十一日十四日

簡単で

清爽な絹紗

度れた

大夫な

グ造涼味は

嶋谷汽船株式會社

八月十九日

內鲜香港地 瓊 河道出 代理店

の 施理証酬を の 第二三番 大月四 日 三番 三番 大月四 日 三番 大月四 日 三番 大月四 日 三番 大月四 日 三番 大月四 日

日天慰 本海 丸丸丸

定群組織

日本語の一大な話

国際連輯支店